

# 第十九回 運営推進会議・議事要旨

令和 8 年 4 月 10 日  
デイサービスセンターえがお

日時：令和 8 年 3 月 27 日（金）13 時 30 分～14 時 30 分

場所：ヴィラオレッタ 2F フリースペース

テーマ：これからの在宅介護について

出席者：DS えがお・寺島区長・福祉事務所  
地域包括支援センターアグリよしだ

計 4 名

## 1、運営状況報告

### （1）運営状況について

令和 7 年 3 月から令和 7 年 8 月における 6 ヶ月間の利用者数推移について、1 日平均 12.8 名、稼働率 71.1%となり、前 6 ヶ月と比べ、冬季に入ったことによりやや微減となりました。今年はインフルエンザ感染やコロナ感染も少なく、雪の影響による利用キャンセルも少なかったことも若干の減少で収まったと考えられます。但し、12 月に週 4 回利用の方がロングショート利用となったことを踏まえると、昨年よりも増えている状況です。

### （2）ヒヤリハットについて

1 件の利用者様ご家族からのクレームがあり、内容はご家族が飲ませてもらいたい薬（昼食後）と看護師が飲ませた薬が異なるというものでした。誤薬と思いましたが、結論として両方とも痛み止めの薬であり、看護師は処方箋にしたがって与薬しており、ご家族の希望は処方箋と異なるものだったことから、担当ケアマネジャーに相談・対応してもらったところ、ご家族は納得されたという事案がありました（福祉事務所報告済み）。

## 2、これからの在宅介護について

昨年 12 月に 1 名の利用者様が利用中止となり、ロングショート利用という事案がありました。唯一の介護者であった息子様が入院され（その後他界）、在宅が困難になったことが原因です。利用者様自身は 100 歳を超えてもなお元気であり、特別養護老人ホーム（以後、特養）に入所できるレベルではなく、長くえがおを利用して頂いたこともあり、利用中止となっても気がかりです。これまで

は、介護している側の息子さん・娘さんが入院や他界され、えがおを利用できなくなるケースはほとんどなく、今回のように在宅もできない、行き先もないケースはありませんでした。今後もこうしたケースは増えていくように思われます。

**( 地域包括支援センターアグリよしだ )**

介護している側のご家族が他界されるケースは既に起こっており、珍しいケースではなくなっている。

特養については、通常は介護度の優先順位で入所できる、できないというものがあるが、特例のケースで認められることもあり、全く対応できないわけではない。担当のケアマネジャーさんが包括や糸魚川市に相談してもらえば、何かしらの対応は可能です。また、親族等の身寄りの方がいらっしゃらない場合は成年後見制度もあり、どうにもならないことはない。

**( 寺島区長 )**

そのご家族は私自身もよく知っており、現在寺島の民生委員の方にも対応をお願いしている段階です。

**( その後の経過について )**

4月9日現在、担当ケアマネジャーさんに確認したところ、包括や市に相談し、結論としては入所先が確定しましたとのことでした。

### **3、その他；運営上の問題**

**(1) 介護職員・看護師不足について**

介護職員については、通常採用が困難を極める状況において、昨年から日雇い・体験アルバイトの採用を始めております。その後採用に至るケースも稀にあり、職場の雰囲気や実際の業務を経験してもらうことで、少しでも本採用につながればと考えております。

看護師については、余裕があった昨年とは異なり、今年に入って2名の退職となり（1名は病気、1名は転職）、また厳しい状況となっています。今から3年ほど前に採用となった看護師さんから、糸魚川市のほうからえがおを薦めてもらったという話がありました（その方は他県へ引越しの為既に退職）。糸魚川市が実施する子供の予防接種等不定期での仕事をされていたこともあり、福祉事務所で契約をされているのか伺いたい。

**( 福祉事務所 )**

予防接種を実施しているのは、福祉事務所ではなく健康増進課となっています。健康増進課であれば契約している看護師さんの情報があるかもしれないので、健康増進課に聞いてみては如何でしょうか。

**(2) ガソリンの給油について**

今個人的に運営に関わる最大の懸念事項がガソリンです。えがおが給油して

いるガソリンスタンドでは1度の給油で20リッターが上限となっており、遙か遠い中東のホルムズ海峡封鎖を身近に感じております。政府は約230日分の石油備蓄があり、今は節約の必要性はないとし、70円程度ガソリン補助金の継続も発表していますが、3月はタンカーがホルムズ海峡を通行できておらず、今到着しているタンカーは封鎖前の2月中に出港したものが到着しているのです、4月以降日本に入港するタンカーはありません。

一人の個人としてはガソリン代が安くて嬉しい反面、デイサービスとしてはガソリンの暫定税率復活や、補助金の廃止等によりガソリン価格を倍にし、糸魚川市としてガソリン備蓄の取組みをやって欲しい。いくら高くてもお金で給油できるうちは問題ない。区長から市長にお話しできませんか。糸魚川市のガソリンスタンドが全て販売中止となれば、糸魚川のデイサービスセンターは存続できなくなります。

（ 寺島区長 ）

国の決定事項を市が変更することはできない。給油箇所は1ヶ所ではなく、数ヶ所で給油できるようにしておくことが望ましい。また、知り合いの運送会社の話ではガソリン価格がリッター10円上がっただけで、経営が相当厳しくなるとの話しも聞いている。

（ 地域包括支援センターアグリよしだ ）

ガソリン価格の値上げ発想について、そういった考えもあるのだと初めて聞く意見なので正直驚いています。確かにガソリンがなくなれば、デイサービスだけでなく、ご家族による送迎も、私たち職員も働けなくなる。

以上